

大和高田教会

*7月12日(日)10時から大聖堂で小教区評議会を開きます。

役員、各地区長、各部長は参加をお願いいたします。

*6月から段階的にミサ再開をしています。マスクの着用・2メートルの間隔を保つ・手指の消毒・3密の回避。これらを確実に守るために種々準備をしてきました。

当面、ミサの参加は高田教会所属信徒(地区別等制限)と求道者のみといたします。

主日のミサは、10時開場 10時半ミサ開始です。

第1主日(7/5)(8/2)はA地区+ベトナムコミュニティ+求道者。

第2主日はミサはありません。(来週7月12日(日)のミサはありません。)

第3主日(7/19)(8/16)はB地区+求道者。

第4主日(7/26)(8/23)はC地区+求道者。

※ご事情により指定された日にミサに与れない方は、遠慮なく役員、地区長にご相談ください。柔軟に対応いたします。また、他の教会のミサが時間的に都合がよいという方はその教会の主任司祭に前もって許可をお取りになることをお勧めします。

※平日のミサは木曜日のみです。(土曜のミサはありません。)

10時10分開場、10時半ミサ開始。全地区高田教会信徒+求道者で33名迄。

・靴底消毒、検温、体調管理表記入等をお願いします。

・飛沫感染防止のため聖歌は歌いません。信者同士の会話も控えて下さい。

・参加に不安のある方はお休みいただき、ご自宅でお祈りください。

主日のミサ参加義務は免除されています。

・地域で感染者が発生した場合は突然、ミサが中止になる場合があります。

・ミサ時間以外は引き続き、教会を閉鎖しています。

以上、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

まだまだ、新型コロナウイルスは予断を許さない状況です。皆様も決して気を緩めることなく、お過ごしください。

お問い合わせは大和高田教会(0745-52-2415)へ。

一日も早く今般の事態が終息するように、病床にある人たちにいやしを、医療関係者に守りがあるように、経済の悪化でいのちの危機に直面する人たちに助けがあるように、政治のリーダーたちがいのちを守るための正しい判断をすることが出来るよう祈りましょう。

(5/13 ロザリオの夕べ 菊池大司教の言葉より)

マタイの10章で、イエスは十二人の弟子たちを宣教に派遣されます。先週、先々週の福音は派遣にあたって弟子たちに語られた内容でした。同じ内容のルカの福音では、弟子たちは喜んで帰って来たということですが、信じない人々も大勢いたようです。

それでイエスは「これらのことを知恵あるものや賢い者には隠して、幼子のような者にお示しになりました」と言われます。「これらのこと」とは神の福音でした。イエスが宣教を始められたとき、集まってきた群衆には貧しい人々や無学な人々が多く含まれていました。彼らは、当時の神の教えでは律法からは遠い人々であると考えられていました。彼らは、イエスのみことばを聞いて、「これこそわたしたちに語られた言葉だ！」と喜んで聞いたのではないのでしょうか。

今日の福音の後半は「くびき」の話です。イエスは、「休ませてあげよう」と言いながら、「わたしのくびきを負いなさい」と命じられます。「くびき」は牛や馬が荷車を曳くときに首にかけられる首かせなので、ふつうはいい意味には用いられません。何かにしぼられる、苦しみを負わされるようなたとえに使われます。ではイエスはなぜそのような表現をされたのでしょうか。それには「くびき」の役目を考える必要があります。

「くびき」は二頭の牛や馬をしっかりと固定します。いわば合体させるわけです。二頭は必ずしも同じパワーを持っているわけではありません。たとえば荷車を二頭それぞれにロープで曳かせると、弱い方はゆっくりしか歩けないので荷車が当たってしまいます。それで二頭を合体させると、なんと、強い方の力が弱い方を助けるのだそうです。そのためにしっかり結ぶ必要があるのです。

イエスが「わたしのくびきを負いなさい」と言われたのは、さらに重荷を負わせようというのではなくて、「あなたの重荷と一緒に負いましょう」という意味だったのです。

わたしたちは重荷を負って人生を歩んでいます。病気や悩み、さまざまな負担、新型コロナウイルスに対する恐れや不安もあるでしょう。けれども、生きている限り、重荷をおろすことはできません。では、どうすればよいのでしょうか。その答えがイエスの言葉にあります。イエスのくびきを負う、つまり、イエスとともに歩むことです。

負っている重荷が重ければ重いほど、イエスの力は大きく働きます。「幼子のような者」つまり貧しい人々や苦しみを負っている人々がイエスの言葉を求めて集まって来たことがそのしるしです。また、人との出会いのなかで受ける喜び、励ましも重荷を負いきる助けとなります。

先週の福音に「この小さな者の一人に、冷たい水一杯でも飲ませてくれる人」とあるのはそのような人のことを表しているのでしょうか。重荷を負いながらも人に喜びを与えることを通して、イエスの仕事を手伝うことができるのです。

(柳本神父)